



# 第2回 SITAサブソサイエティ 活動報告会

2012年12月13日(木)

# 活動報告会の内容

1. SITAサブソ活動概要・展望
2. 会計事業報告
3. 企画事業報告
4. SITA2013準備報告
5. Web/ML事業報告
6. 広報事業報告
7. 情報理論研究専門委員会報告
8. SITA2012中間報告
9. ISITA2012実施報告
10. ISITA2014準備報告
11. 新年度サブソサエティ長・委員の紹介
12. 意見交換





# SITAサブソ活動概要・展望

サブソサエティ長 若杉 耕一郎

# 情報理論とその応用サブソサイエティ

## 2012年度 委員会構成

- サブソサイエティ長 若杉 耕一郎(京都工芸繊維大)
- 副サブソサイエティ長 森田 啓義(電気通信大)
- 委員(庶務担当) 和田山 正(名古屋工業大)
- 委員(会計担当) 渋谷 智治(上智大)
- 委員(広報担当) 岩本 貢(電気通信大)
- 委員(企画担当) 植松 友彦(東京工業大)
- 委員(SITA担当) 西新 幹彦(信州大)
- 委員(ISITA担当) 落合 秀樹(横浜国立大)
- 委員(WEB/ML担当) 有村 光晴(湘南工科大)
- 委員(無任所) 古賀弘樹(筑波大)
- 委員(無任所) 野上 保之(岡山大)
- IT研専門委員会委員長 鎌部浩(岐阜大)



## SITAサブソサイエティ委員会の開催

- 第1回委員会（平成24年4月26日（木），電気通信大学）
- SITAサブソサイエティ・IT研専委員会 合同委員会  
（平成24年7月19日（木），豊田工業大学）
- 第2回委員会（平成24年9月11日（火），富山大学）
- 第3回委員会（平成24年12月12日（水），別府湾ロイヤルホテル）



## SITAサブソサイエティの課題

- IEICEの枠組みの中での国内会議・国際会議の実施

SITA2011・ISITA2012      実施済み

SITA2012                      進行中

SITA2013・ISITA2014      準備中

- 課題1:サブソサイエティの今後の形態
- 課題2:論文誌編集事業への主体的な関与
- 課題3:海外学会との連携



# SITAサブソサイエティとしてのフェロー制度

## 1. フェロー推薦基準

特に貢献が顕著であると認められたシニア会員に対してフェロー称号を贈呈する。

### 経過処置

平成27年までは、「シニア会員」を「正員」と読み替えて適用し、本会会員として原則在籍累計10年以上の者を対象とする。

平成28年以降は、シニア会員のみから選ばれる。

## 2. シニア会員推薦基準

本会が関連する技術分野に原則10年以上従事しており、本会会員として在籍累計5年以上の正員、あるいは顕著な業績・貢献が認められる正員を対象とする。

### 経過処置

平成25年のシニア会員称号の贈呈までは、本会会員として在籍累計10年以上の正員を推薦者として認める。

平成26年以降は、推薦者は名誉員、フェロー、シニア会員のみとなる。



# 会計事業報告

会計担当 渋谷 智治

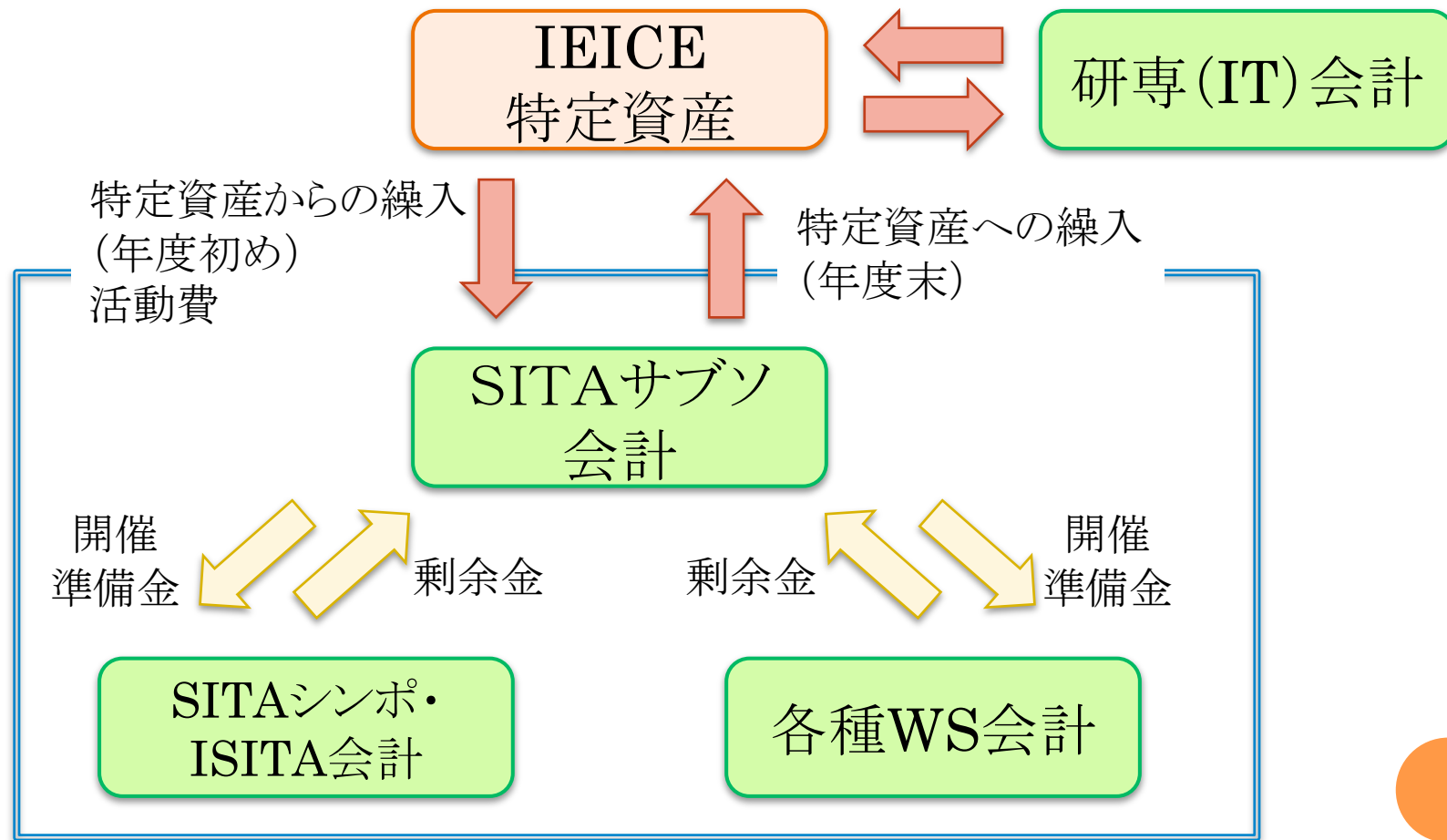


# 会計事業報告

- SITAサブソ会計の概要
- 2012年度予算執行状況(第二四半期まで)
- 2013年度予算案



# SITAサブソ会計の概要





# 企画事業報告

企画担当 植松 友彦

## 企画事業報告

- 総合大会企画(IT研専と共催)

公募シンポジウム「ネットワーク符号化と秘密分散法」

2012年3月22日、岡山大学にて開催

- On Secret Sharing Schemes based on Regenerating Codes  
Masazumi Kurihara(Univ. of Electro-Communications)
- しきい値法の一般化とその構成法 岩本貢(電通大)
- Secret sharing schemes based on linear codes can be precisely characterized by the relative generalized Hamming weight Jun Kurihara(KDDI R&D Labs.)・Tomohiko Uyematsu・Ryutaroh Matsumoto(Tokyo Inst. of Tech.)
- 2変数2次多項式を用いた秘密分散法のアクセス構造 西新幹彦・柏倉英明(信州大)
- $(2,n)$ 閾値復号によるデータ共有の復号権限委譲  
長澤悠貴(名工大)・毛利公美(岐阜大)・福田洋治(愛知教育大)・廣友雅徳(佐賀大)・白石善明(名工大)
- なりすまし攻撃を検出できる $(k,n)$ しきい値法の構成とその最適性  
古賀弘樹(筑波大)



○ ソサイエティ大会企画(IT研専と共催)

パネルセッション「情報理論・符号理論の教え方」

2012年9月13日、富山大学にて開催

- 厳選素材のコンパクト情報理論 横尾英俊(群馬大)
- 情報理論の入り口で何を教えるか? ～高専における情報理論教育～ 小嶋徹也(東京高専)
- Cプログラミングによる誤り訂正符号の実践的授業の試み 辻岡哲夫(阪市大)
- 何のための情報理論か 葛岡成晃(和歌山大)
- いちメーカーの技術担当から見た情報理論 原田康祐(東芝)



○ 若手研究者の為の講演会 (IT研専, IEEE, SITA2012  
実行委員会共催, サブソ協賛)

2012年12月11日、別府湾ロイヤルホテルにて開催

- 追悼: Thomas Cover 山本博資(東大)
- 情報理論のひろがり ~ スタンフォード滞在で得たこと ~  
川端勉(電通大)
- 多端子情報理論と情報理論的不等式 大濱靖匡(電通大)
- Cover先生の研究室で思い出に残っているテーマ ~ 定  
常エルゴードな系列に対するユニバーサルな予測 鈴木讓  
(阪大)



## 今後の予定(平成24年度)

### ○ 総合大会企画(IT研専と共催)

チュートリアルセッション「**Jack Wolf**の情報理論:記録系とネットワーク」

- 線形ブロック符号に対するトレリスに基づく復号法について 得重仁(徳島大)
- 相関情報源に対する符号化 村松純(NTT)
- 記録系に関する符号化 **Kurkoski Brian**(JAIST)
- **Jack Keil Wolf** の『記録に関する信号処理』研究について 田崎三郎(愛媛大)





# SITA2013 準備状況報告

SITA2013実行委員長 植松 友彦



# SITA2013準備状況報告

開催期日、会場等を下記のように決定した。

- 開催期日:2013年11月26日(火)～11月29日(金)
- 会場:伊東ホテル聚楽(静岡県伊東市)
  - 敷地内に源泉7本所有、単純泉、泉温53°C、pH値8.34
  - 大浴場3つ ゆるかの湯、やんもの湯、南欧露天風呂
  - 伊東駅から送迎バスで5分(電車到着に併せて運行)
  - 5パラレルセッション可能
- 実行委員長:植松友彦(東工大)
- プログラム委員長:松嶋敏泰(早大)



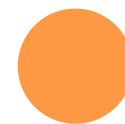


# WEB/ML事業報告

Web/ML担当 有村 光晴

## WEB/ML担当

- メールングリスト
- Web
- Twitter / Facebook



## メーリングリスト

- [sita-ml@mail.ieice.org](mailto:sita-ml@mail.ieice.org)
- 2011年3月5日開設
- 12月3日現在の購読者数: 332名  
(2011年11月時点: 324名)
- 開設からのメール配送数: 159通  
(2011年11月時点: 61通)



## TWITTER / FACEBOOK

### ○ Twitterアカウント:

@sita\_soc

- 2011年11月29日開設
- 現在までのtweet数: 20 tweet
- IT研究会やSITA/ISITAシンポジウム, SITA特集号など
- 基本的にはsita-mlの情報を転送

### ○ Facebookアカウント:

SITA Society

- 2012年11月14日より, twitterのtweetを転送



# WEB

- Twitterの内容をサブソンのWebに掲載

## 情報理論とその応用サブソサイエティ(SITAサブソ)

|     |         |           |        |     |     |
|-----|---------|-----------|--------|-----|-----|
| ホーム | サブソについて | シンポジウム・企画 | メールリスト | その他 | リンク |
|-----|---------|-----------|--------|-----|-----|

ご挨拶

ホーム  
委員内部ページ

情報理論とその応用サブソサイエティ(SITAサブソ)は2011年度より活動を開始しました。旧 情報理論とその応用学会の活動を引き継ぎ、情報理論とその応用シンポジウム(SITAシンポジウム)やInternational Symposium on Information Theory and its Applications (ISITAシンポジウム)を主催しています。

### ■ 新着情報

2012年8月2日  
[招待講演者の旅費規程](#)を公開しました。

2012年6月29日  
[第39回情報理論とその応用シンポジウム\(SITA2012\)のページ](#)を公開しました。

2012年1月13日  
[ワークショップの開催規定](#)を公開しました。

2011年12月6日  
[12月1日に開催されたサブソ報告会のスライド](#)を公開しました。

### ■ Twitter

ツイート @sita\_socさんをフォロー

 sita\_soc @sita\_soc 11月16日  
1月21日(月)に電気通信大学で開催される情報理論研究会のプログラムが公開されています。 [ieice.org/ken/program/in...](http://ieice.org/ken/program/in...) をご覧ください。  
開く

 sita\_soc @sita\_soc 11月14日  
twitter @sita\_soc と Facebook "SITA Society" を連携しました。

 sita\_soc @sita\_soc 11月7日  
12月11日(火)~14日(金)に別府湾ロイヤルホテルで開催される第35回情報理論とその応用シンポジウム(SITA2012)のアドバンスプログラムが公開されています。 [ieice.org/ess/sita/SITA2...](http://ieice.org/ess/sita/SITA2...) をご覧ください。

情報理論とその応用サブソサイエティ  
Copyright © Subsociety of Information Theory and its Applications. All Rights Reserved.  
このWebに関する問い合わせは [sita-www@mail.ieice.org](mailto:sita-www@mail.ieice.org) まで。





# 広報事業報告

広報担当 岩本 貢

# 広報関連報告

## ○ FR誌関連記事

- SITA奨励賞受賞挨拶(2名, vol.5, no.3, 2012年1月)
- SITA開催報告(高田先生, vol.5, no.3, 2012年1月)
- ISITA開催報告(楫先生, vol.6, no.4, 2013年4月予定)
- SITA奨励賞受賞挨拶(2名, vol.6, no.3, 2013年1月予定)

## ○ ニュースレター編集委員長

- 公募 (2012,8.6, sita-ml:123)
- 他薦1
- 被推薦者との意見交換, 条件折り合わず
- 「自由な発言の場」の実現方法を検討中







# 情報理論研究専門委員会報告

情報理論研究専門委員会委員長 鎌部 浩

## 情報理論研究専門委員会

- 委員長: 鎌部 浩 (岐阜大学)
- 副委員長: 大橋 正良 (ATR)
- 幹事: 井坂 元彦 (関西学院大学)
- 幹事: 野村 亮 (専修大学)
- 幹事補佐: 古賀 弘樹 (筑波大学)



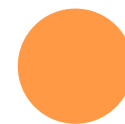
## 研究会

- 平成24年5月25日、福岡県立飯塚研究開発センター(戒田高康先生、近大)
- 平成24年7月19日(木)～20日(金)、豊田工業大学(松井一先生、豊田工大)
- 平成24年9月27日(木)～28日(金)、草津セミナーハウス(萩原学先生、産総研)、誤り訂正符号のワークショップと併催
- 平成24年12月11日(火)、別府湾ロイヤルホテル(實松豊先生、九大)
- 平成25年1月21日(月)、電通大(八木秀樹先生、電通大)
- 平成25年3月7日(木)～8日(金)、関西学院大(井坂元彦先生、関西学院大)、ISEC、WBSとの合同研究会



## 研究専門委員会

- 第一回専門委員会(平成24年5月25日(金))、福岡県立飯塚研究開発センター
- 第二回専門委員会(平成24年7月19日(木))、豊田工大
- SITAサブソサイエティ・IT専門委員会 合同委員会(同上)
- 第三回専門委員会(平成24年12月11日(火))、別府湾ロイヤルホテル



## 企画

- 情報理論研究専門委員会30周年記念事業、技報のDVD化
- パネルディスカッション：情報理論・符号理論の教え方(ソサイエティ大会(富山大)、平成24年9月13日)、オーガナイザ:大橋正良(ATR)、植松友彦(東工大)
- チュートリアル：J. Wolfの情報理論(総合大会(岐阜大)、平成25年3月19日～22日)、オーガナイザ:鎌部浩(岐阜大)、植松友彦(東工大)





# SITA2012中間報告

SITA2012実行委員長 竹内純一

## SITA2012中間報告

- 会期:2012年12月11日(火)- 2012年12月14日(金)
- 場所:別府湾ロイヤルホテル(大分県速見郡日出町)
- 主催:電子情報通信学会 基礎・境界ソサイエティ 情報理論とその応用サブソサイエティ
- 共催:IEEE Information Theory Society, Japan Chapter、九州大学 グローバルCOEプログラム「マス・フォア・インダストリ教育研究拠点」
- 後援:九州大学 大学院システム情報科学府・大学院システム情報科学研究院
- 協賛:日本応用数理学会、IEEE Fukuoka Section、情報処理学会
- 発表論文数:126件(43セッション)
- 参加者数:193名(一般117名、学生76名。12月6日現在)



# SITA2012実行委員会

- 実行委員長 竹内 純一(九州大学)
- プログラム委員長 和田山 正(名古屋工業大学)
- 総務 實松 豊(九州大学)  
小野 廣隆(九州大学)
- 会計 高橋 規一(九州大学)  
緒方 将人(九州産業大学)
- 登録・広報・渉外 上原 聡(北九州市立大学)  
来嶋 秀治(九州大学)  
安永 憲司(九州先端科学技術研究所)
- 出版 三村 和史(広島市立大学)  
藤崎 礼志(金沢大学)
- 会場 **KHAN Muhammad Tahir Abbas**  
(立命館アジア太平洋大学)
- 無任所 川喜田 雅則(九州大学)  
戒田 高康(近畿大学)





## SITA2012プログラム委員会

- プログラム委員長 和田山 正(名古屋工業大学)
- 幹事 野村 亮(専修大学)
- 委員 渡辺 峻(徳島大学)  
村松 純(NTT)  
笠井 健太(東京工業大学)  
松井 一(豊田工業大学)  
八木 秀樹(電気通信大学)  
岡本 英二(名古屋工業大学)  
臼田 毅(愛知県立大学)  
岩本 貢(電気通信大学)  
三村 和史(広島市立大学)





# ISITA2012実施報告

ISITA2012実行委員長 藤原 融



<http://www.isita.ieice.org/2012/>



# ISITA 2012 DATES & VENUE

- **October 28-31, 2012**

  - October 28(Sun) Welcome Reception

  - October 29(Mon)-31(Wed)

    - 2 Plenary Sessions (29 & 30)

    - 39 Technical Sessions

    - Banquet (30)

- **Hawaii Convention Center**

  - Honolulu, HI, USA





# ISITA 2012 SPONSOR

## ○ Sponsor

- Research Society of Information Theory and its Applications, IEICE



## ○ Technical Co-Sponsors

- IEEE Information Theory Society
- Department of Electrical Engineering,  
University of Hawaii





# IMPORTANT DATES

- **Deadline for paper submission**  
March 28, 2012 → **May 5**
- **Notification of paper acceptance**  
Middle of June, 2012 → **July 23**
- **Deadline for final paper submission**  
July 18, 2012 → **August 10**
- **Deadline for author registration**  
July 18, 2012 → **August 10**





## 講演

### ○ 招待講演

- “Towards an Information Theory for Large Networks”  
**Michelle Effros** (California Institute of Technology)
- “Polymatroidal Structures in Multi-User Coding”  
**Te Sun Han** (National Institute of Information and Communications Technology)

### ○ 一般講演

- 39セッション (5パラレル)
- 167掲載論文
  - no show 3件 (内2件はハリケーンの為)
  - 投稿論文 207件、採録論文 172件 (採択率 83%)





## 参加者(暫定)

- 参加者 235名 (内、欠4)
  - 招待 2名
  - 事前登録 226名
    - 一般 144名
    - Early 124名
    - Late 20名
  - 学生 82名
    - Early 76名
    - Late 6名
  - 当日登録 7名
    - 一般 7名
    - 学生 0名
- 地域別参加者数 (22か国)
  - Japan 170 (内、欠1)
  - USA 22 (内、欠3)
  
  - North America 3
  - South America 1
  - Europe 16
  - East Asia 14
  - Southeast Asia 4
  - South Asia 2
  - Africa 1
  - Oceania 2

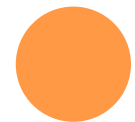






## 今後の予定

- 会計を閉じ、会計監査を受ける
- SITAサブソを通じて、ESSに報告
- FR誌への報告記事執筆





# SYMPOSIUM COMMITTEE

## **General Co-Chairs**

- Toru Fujiwara (Osaka U.)
- Anders Høst-Madsen (U. Hawaii)

## **Symposium Advisors**

- Ikuo Oka (Osaka City U.)
- Toshiyasu Matsushima (Waseda U.)
- Marc P.C. Fossorier (ETIS ENSEA)

## **General Secretaries**

- Yuichi Kaji (NAIST)
- Takuya Kusaka (Okayama U.)

## **Finance**

- Tadashi Wadayama (Nagoya Inst. Tech.)
- Shigeaki Kuzuoka (Wakayama U.)
- James Yee (U. Hawaii)

## **Publicity**

- Motohiko Isaka (Kwansei Gakuin U.)
- Shun Watanabe (U. Tokushima)

## **Publication**

- Hidenori Kuwakado (Kobe U.)
- Masanori Hiroto (Saga U.)

## **Registration**

- Hideki Yoshikawa (Tohoku Gakuin U.)
- Galen H. Sasaki (U. Hawaii)

## **Local Arrangement**

- Hitoshi Tokushige (U. Tokushima)
- Manabu Hagiwara (AIST)

## **Technical Program Committee Co-Chairs**

- Tomohiko Uyematsu (Tokyo Inst. Tech.)
- Narayana P. Santhanam (U. Hawaii)

## **International Advisory Committee Co-Chairs**

- Yasutada Oohama (U. Electro-Comm.)
- Yoshikuni Onozato (Gunma U.)
- J.B. Nation (U. Hawaii)



# TECHNICAL PROGRAM COMMITTEE



## Co-Chairs

- Tomohiko Uyematsu (Tokyo Inst. Tech.)
- Narayana P. Santhanam (U. Hawaii)

## Members

- Animashree Anandkumar (UC Irvine)
- Singo Ata (Osaka City U.)
- Constantine Caramanis (U. Texas Austin)
- Elza Erkip (New York U.)
- Toshiaki Fujii (Nagoya U.)
- Venkatesan Guruswami (Carnegie Mellon U.)
- Kohsuke Harada (Toshiba Corp.)
- Tracey Ho (California Inst. Tech.)
- Motohiko Isaka (Kwansei Gakuin U.)
- Sidharth Jaggi (Chinese U. Hong Kong)
- Tara Javidi (U. of California, San Diego)
- Hiroshi Kubo (Ritsumeikan U.)
- Noboru Kunihiro (U. Tokyo)
- Yingbin Liang (Syracuse U.)
- Ryutaroh Matsumoto (Tokyo Inst. Tech.)
- Andrew McGregor (U. Massachusetts)
- Olgica Milenkovic (U. Illinois)
- Kazuhiko Minematsu (NEC Corp.)
- Hiroyoshi Morita (U. Electro-Commun.)
- Bobak Nazer (Boston U.)
- Tomoaki Ohtsuki (Keio U.)
- Yasutada Oohama (U. Electro-Commun.)
- B. Sundar Rajan (Indian Inst. of Science)
- Shigenobu Sasaki (Niigata U.)
- Tomoharu Shibuya (Sophia U.)
- Jun'ichi Takeuchi (Kyusyu U.)
- Ichi Takumi (Nagoya Inst. Tech.)
- Sennur Ulukus (U. Maryland)
- Sriram Vishwanathan (U. Texas Austin)
- Tadashi Wadayama (Nagoya Inst. Tech)
- Isao Yamada (Tokyo Inst. Tech.)
- Hirosuke Yamamoto (U. Tokyo)
- Ken Zeger (U. of California, San Diego)





# ISITA2014準備報告

ISITA2014実行委員長 森田 啓義

# isita2014

October 26 - 29

## Symposium Committee

### General Co-chair

Hiroyoshi Morita

Emanuele Viterbo

### TPC Co-chair

Hidetoshi Yokoo

Stephen Hanly

### TPC Secretary

Hideki Yagi

### Symposium Advisors

Adrian J. van Wijngaarden

Kin-ichiroh Tokiwa

Toshihisa Nishijima

### General Secretaries

Tadashi Wadayama

Shun Watanabe

Mitsugu Iwamoto

### Fiance

Makoto Suzuki

Robby McKilliam

### Publicity

Shigeaki Kuzuoka

Brian M. Kurkoski

### Publications

Mikihiko Nishiara

Yi Hong

### Registration

Hidetoshi Saito

Terence Chan

### Local Arrangement

Tetsuya Kojima

Jamie Scott Evans

### IAC Co-chair

Hirosuke Yamamoto

A. J. Han Vinck

Ezio Biglieri



# MELBOURNE CONVENTION & EXHIBITION CENTRE

Exhibition Centre

Convention Centre

Hilton Hotel



The MCEC complex is located on the banks of the Yarra River  
in Central Melbourne

# isita2014

October 26 - 29

## Schedule

|                                  |                       |
|----------------------------------|-----------------------|
| <b>Paper submission deadline</b> | <b>March 26, 2014</b> |
| <b>Acceptance notification</b>   | <b>June 22, 2014</b>  |
| <b>Final paper submission</b>    | <b>July 20, 2014</b>  |

## Call for Papers

[www.isita2014.org](http://www.isita2014.org)



**See You in Melbourne!**  
**ISITA 2014**  
**[www.isita2014.org](http://www.isita2014.org)**







# SITAサブソサエティ新年度体制

次期SITAサブソサエティ長 森田 啓義

# 情報理論とその応用サブソサイエティ 2013年度 委員会構成

- サブソサイエティ長 森田 啓義(電気通信大)
- 副サブソサイエティ長 植松 友彦(東京工業大)
- 委員(庶務担当) 古賀 弘樹(筑波大)
- 委員(会計担当) 野上 保之(岡山大)
- 委員(広報担当) 斉藤 秀俊(工学院大)
- 委員(企画(国内)担当) 鎌部 浩(岐阜大)
- 委員(企画(国外)担当) 八木 秀樹(電気通信大)
- 委員(SITA担当) 實松 豊(九州大)
- 委員(ISITA担当) 楫 勇一(奈良先端大)
- 委員(WEB/ML担当) 小嶋 徹也(東京工業高専)
- 委員(無任所) 野村 亮(専修大)
- 委員(無任所) 村松 純(NTT)
- IT研専門委員会委員長 未定





意見交換